

# 令和 8 年度 業務委託仕様書

- 1 業務名 自家用電気工作物保安管理業務及び高圧受電設備精密点検業務委託(R8)
- 2 場 所 下地島空港地内
- 3 目 的 本業務は下地島空港の自家用電気工作物保安管理業務及び高圧受電設備精密点検業務を実施する事により、自家用電気工作物を常に最良の状態を保つことを目的とする。
- 4 期 間 令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで
  - ・点検実施日 11 回／年（法定点検）  
1 回／年（精密点検）
  - ・報告書提出期限 法定点検(毎月点検)は点検終了後、速やかに提出。  
精密点検は年度内提出とする。
- 5 業務内容
  - ・電気事業法施行規則第 52 条第 2 項に基づき、電気主任技術者の選任及び自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督に係る業務を実施すること。
  - ・月次点検（法定点検）は、保安規程（平成 25 年 10 月 18 日、経済産業省 原子力安全・保安院 那覇産業保安監督事務所長提出）の「巡視・点検・測定及び試験基準」に基づき実施し、精密点検は精密点検実施要領に基づき実施すること。
  - ・精密点検には月次点検（法定点検）を含むものとする。
- 6 その他
  - ・保安規程の変更が生じた場合は、速やかに保安規程変更届出を経済産業省 那覇産業保安監督事務所長あて提出する必要があることから、保安規程変更（案）を発注者あて提出すること。
  - ・年度内に実施する自家用発電機年次点検への立ち会いを行うこと（1 人日）。

# 精密点検実施要領

## 1. 目 的

高圧電気設備の事故防止及び安定した電気の供給を確保し、空港の安全管理に供する。

## 2. 準用法令等

電気事業法第42条	保安規程
保安規程第12条	巡視・点検・測定等の結果
電気設備技術基準	結果の判定基準

## 3. 現場監督者

保安規程に定められた電気主任技術者及び電気主任技術者の命を受けた代行者。

## 4. 作業実施時間

高圧受電設備の精密点検は、下地島空港管理事務所と時間帯を調整の上、原則として下地島空港の運用時間外に実施するものとする。

## 5. 作業（停電）範囲

県管理の空港内電気施設全般。

なお、仮設電源が必要な箇所については、仮設電源を設置すること。

（県管理棟、電源局舎、屋外キュービクル等）

## 6. 点検結果報告書の提出

作業完了後に報告書がまとまり次第、県へ速やかに提出すること。

## 7. 作業上の注意事項

### （1）県への連絡

作業員名簿及び作業車両等について一覧表を提出し、ランプパスや車両許可証の発行手続き等の準備作業を遅滞なく行うこと。

もし、ノータム発行依頼の必要がある場合は、実施期日及び時間等が決定次第、早めに担当者へ連絡する。

### （2）協議及び調整

作業実施に当たっては関係機関と十分な協議を行うものとする。また国には県から周知し協力を依頼する。

(3) 安全対策等

作業実施場所は主に高電圧部分であるため安全対策・確認は万全にすること。

また、信頼性の高い判定結果が得られるよう準備を行うこと。

(4) 設備・機器に対する配慮

ア. 作業開始に伴う停電時

運転中である設備、機器の急停止したことによる混乱及び復旧に長時間を要する設備、その他機器の対策をとること。

特に精密機器及び容量の大きい冷房設備等は十分に注意する。

イ. 作業完了に伴う復旧時

自動運転機器の対策、特に精密機器及び容量の大きい冷房設備等は注意する。

(5) 作業用照明の設置について

作業の時間帯は夜間に集中するため作業効率、安全等を確保するため発電機等により作業場所の照度を確保する。

## 8. 作業範囲及び項目

電源局舎内高圧部・県管理棟高圧部・屋外キュービクル内高圧部

作業事項	対象設備・機器	数量等	作業方法その他
絶縁診断・絶縁抵抗測定	ケーブル（高圧用）	22 回路	PI 法
保護 RY テスト（単要素）	保護継電器 （地絡過電圧、過電流）	47 台	電流及び電圧要素
保護 RY テスト（二要素）	方向性地絡継電器	6 台	電流電圧要素
計器校正試験	電流計等指示計器、力率計	69 台 6 台	単要素 二要素
シーケンス回路テスト	保護回路、表示回路	73 点	
漏電警報機試験	漏電警報機	12 台	
しゃ断器試験	しゃ断器	21 台	
避雷器試験	避雷器	3 台	
コンデンサー試験	コンデンサー	2 台	容量測定試験
低圧配電盤絶縁試験	低圧配電盤	1 式	清掃及び絶縁試験
その他	予備発電機、非常照明設備	1 式	仮設、撤去
設備機器の清掃・手入れ	高圧盤内設備機器等	1 式	